

事業者向け 児童発達支援自己評価表（案）

資料3

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			バリアフリーであり機能訓練室の広さも確保している
	② 職員の配置数は適切であるか	○			職員人数の確保は出来ている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリーであり広さも確保できている。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		定期的なミーティングを行っているが時間的に短いため今後は余裕をもって取り組めるようにしていく。
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からの意見意向を職員に伝え、職員全体でミーティングを行い取り組んでいる。
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	行っていないため、今後は第三者による外部にも連絡をとり、業務改善に繋げていく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		児童の日々の医療的ケアや入浴介助、送迎などに追われなかなか確保できないが今後は取り組んでいけるよう勤務を組みたい。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者と児童のニーズを情報収集し、客観的に分析し計画書を作成している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		重症心身障害児及び医療的ケア児のため、アセスメントツールが当てはまりにくい、基本的に使用している。
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		児童発達支援ガイドラインに沿って支援内容を選択しているが、児童に必要なものになっているかが不安であり、今後はその部分も改善出来るよう努力していく。
	⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画書に沿って支援している。
	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員全員でプログラム立案をしている。
	⑭ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			前年度など過去のものと比較し固定化しないようにしている。
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動を組み合わせながら、サービスク計画書を作成している。
	⑯ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日と当日にチェックをしている。

	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了後に10分程度の振り返りを行い、共有できるようにしている。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々記録をとっており、ミーティングを行い、改善などに繋げている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年2回のモニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		看護師及び児童発達管理責任者が参加している。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保育園、相談支援員、保育園、などと連携を取っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		訪問看護、相談支援員、かかりつけ医、保育園など、必要な機関との連携を行っている。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		訪問看護、かかりつけ医、相談支援員、などの連絡を取り組んでいる。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行にむけ、保育園や特別支援学校と情報共有を行っている。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学ぐへの移行の際は、特別支援学校との情報共有を行っている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	双方の時間の調節が難しく、定期的とはいかないが、電話での助言は受けている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在まで出来ていないが、今後は出来るように努めていく。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	現在まで出来ていないが、今後は出来るように努めていく。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日の送迎時に児童の状況を保護者に伝えている。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○	働いている保護者が多く、現在のところ出来ていないため、今後は時間を作りペアレント等の支援に繋げていく。
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行っている、
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○	ガイドラインに沿って支援内容を作成しているが、働いている保護者が多く、しっかりとした説明が出来ているかは不十分のため、今後は時間を作り説明できる世に努めていく。
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		常に何かあれば相談を出来るようにコミュニケーションを取っている。悩みや相談についても解決できるように寄り添っている。

保護者への説明責任等	③4	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	働いている保護者が多く現在のところ出来ていないため、今後はできるようにあれば行ってなっていく。
	③5	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や申し入れに親身になって対応している。
	③6	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報ははこうしていないが、ホームページにて日々の様子などを発信している。
	③7	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報に関する誓約書の説明と同意書を取っている。
	③8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童の日々の様子や体調を伝え、保護者との意思疎通をとっている。
	③9	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在まで出来ていないので今後は招待も検討していく。
非常時等の対応	④0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			定期的に描く勉強会を行っている。防災訓練は年2回行っている。
	④1	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2会の避難訓練を行っている。
	④2	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			事前に情報収集し、把握できている。
	④3	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			事前に情報収集し、把握できている。
	④4	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			その日のうちに報告書を書き、共有を行っている。
	④5	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		研修機会は取れていないが、事業所内勉強会を行っている。
適切な支援	④6	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○	身体拘束などの該当児童がいないため、現在のところは行っていない。

保護者等向け 児童発達支援評価表（案）

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか				
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか				
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか				
適切な支援	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか				
	⑤ 児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な				

援の 提供	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか				
	⑦	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか				
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				
保護者への説明等	⑨	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか				
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がな				
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング ⁱⁱⁱ 等）が行われているか				
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか				
	⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか				
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				
	⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている				
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか				
非常時等の対応	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者				
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか				
	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した				
満足度	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				
	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか				
	㉒	事業所の支援に満足しているか				

ⁱ 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ⁱⁱ 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

ⁱⁱⁱ 保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。

的な支
記童発